

第2期広島市立大学塾活動報告【7月17日】

国際学部国際学科2年

齊藤秀太

7月17日の広島市立大学塾（市大塾）は最終回で、これまで一年間の活動を振り返りました。市大塾について良かったこと・期待外れだったこと、自分自身が変わったこと・変わらなかったこと、市大塾への提言をディスカッションの中で、メンバー全員が一人ずつ発表しました。

まず、市大塾に関して良かったこと・期待外れだったこと・市大塾の提言が大いに話され、様々な意見や感想が飛び交いました。それから、一番話の実を感じられたのは、自分自身が変わったこと・変わらなかったことについてでした。メンバーそれぞれが、この塾で活動する中で、気づき、考え、少しずつ変わっているということを、メンバー各々の話の中で、市大塾の最終回に見受けられました。

また、僕たちが活動して来られたのは、先生をはじめとした挙げるに尽くせないほどの人達のご尽力、ご協力によるものであったと最終回では改めて気づかされました。本当に私たち塾生は、恵まれた環境で多岐にわたる学習ができ、幸せだったと思います。

そして、今回で私たち広島市立大学塾2期生の活動は最後となりましたが、ここがゴールではありません。塾での学びをさらに深めること、塾での経験を生かすこと、成長することが私たちに期待されていることです。メンバーそれぞれ進む方向は違うと思いますが、それぞれが夢や目標に向かって邁進していけたらと思える、良き最終回となりました。

